

まとめて防で

稲用種子消毒剤

スポルタック®スターナ®SE



ばか苗病



もみ枯細菌病(苗腐敗症)

特長

- ①糸状菌および細菌による病害の同時防除が可能で、混用の手間がかかりません。
- ②本剤のSE (Suspo-Emulsion) は粘性の低い液状タイプなので、取り扱いが簡単です。
- ③本剤成分のプロクロラスおよびオキシリニック酸は水稲に対して安全性が高いことが実証されています。



ごま葉枯病



いもち病



褐条病



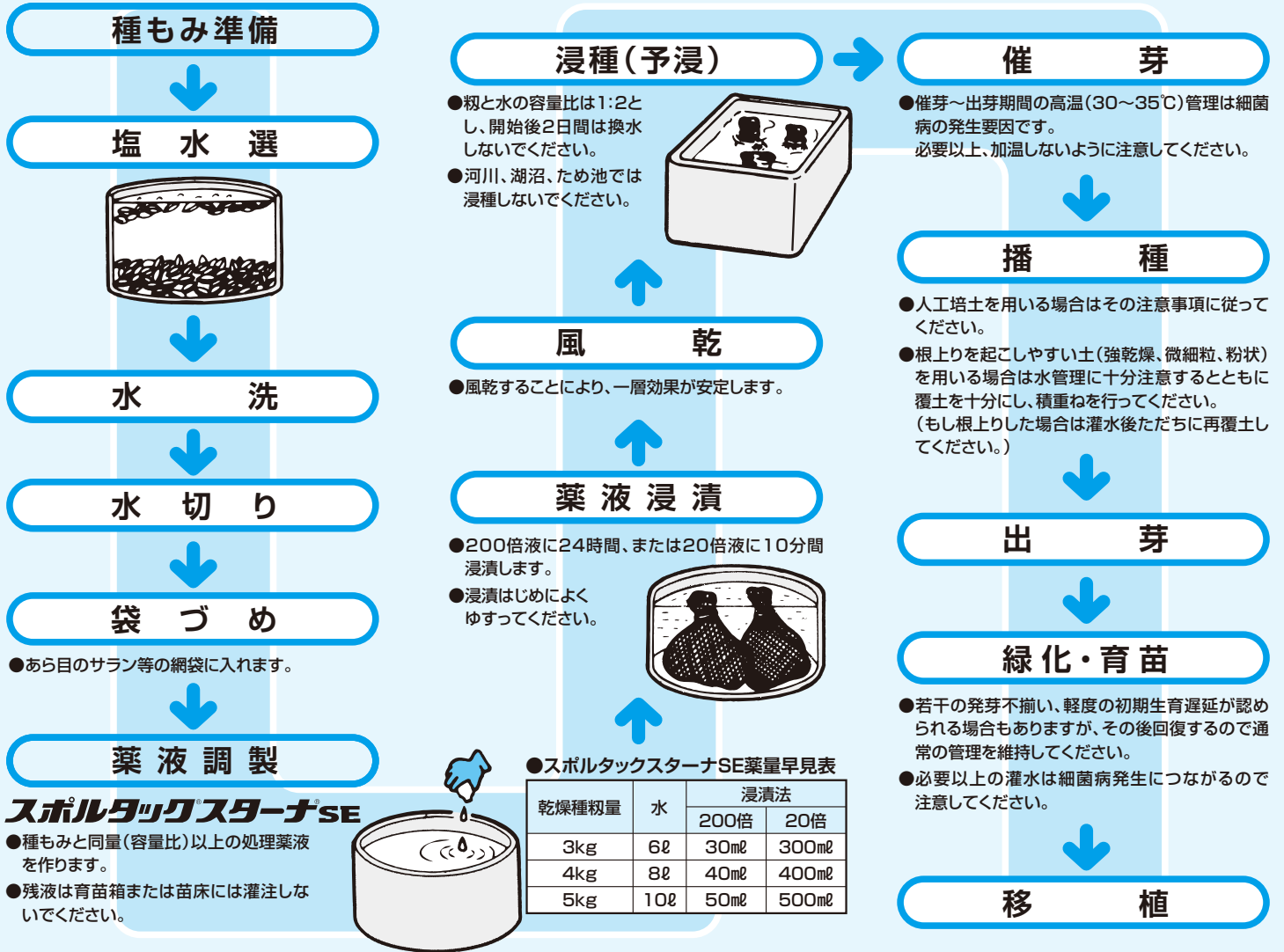
苗立枯細菌病

適用病害の範囲 および使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	総使用回数	使用方法
稲	ばか苗病	200倍	浸種前	本剤……………1回 プロクロラズ……………1回 オキシリニック酸……………1回	24時間浸漬
	いもち病	20倍			10分間浸漬
	ごま葉枯病	7.5倍 乾燥種粉 1kg当り 希釈液30ml			吹き付け処理 (種子消毒機使用) または塗沫処理
	もみ枯細菌病				
	褐条病				
苗立枯細菌病					

2020年11月現在の登録内容

浸漬処理の作業手順 (浸種前処理のみ)



使用上の注意事項 (抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は風乾し、水洗いせずに浸種してください。
- 浸漬処理の場合、籾と処理薬液の容量比は1:1以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすってください。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、均一に付着させて乾燥してください。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種籾を攪拌しながら、薬液を滴下するなどして、種籾に均一に付着させてください。
- 本剤の処理を行った種籾を浸種する場合は、次の注意事項を守ってください。

- 籾と水の容量比は1:2とし、停滞水中で浸種してください。
- 水の交換は原則として行わないでください。ただし、水温が高い場合など酸素不足になるおそれがある場合は静かに換水してください。
- 河川、湖沼、ため池などでは浸種しないでください。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延を認めることがありますが、その後回復するので通常の管理を継続してください。
- 下記のような土を育苗土として用いる場合には、根上りを助長するおそれがあるので播種時に十分灌水し、覆土を十分に積み重ねによる出芽を行ってください。
 - ・粒子が細かく、しかも水分含量の低い土
 - ・根上りに関する注意事項が明記されているような人工培土

- 尚、万一根上りが起きた場合には、直ちに灌水して覆土を落ち着かせ、再覆土を行ってください。
- 本剤で処理した種子は食料や動物飼料として用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。
- 使用の際は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R11K20S21-Z

2020年11月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>

